



【第44期初級陸曹特技課程「准看護師」積雪地訓練】令和2年2月15日

第44期初級陸曹特技課程「准看護師」学生24名（男子14名、女子10名）は、2月5日から15日のうちの8日間、各種スキー技術及び積雪地における患者搬送要領の練度向上を図ることを目的として、市内のスキー場と北海道大演習場真駒内射場地区において、滑降・滑走訓練を実施した。

最終日の2月15日（土）、午前に個人走、午後に部隊機動の競技会が行われたが、個人走競技会において、病院長（大鹿陸将）が視察する中、スキー未経験者11名を含む学生24名全員が、見事に6kmを完走をした。

競技後、病院長は「学生諸官が全力で頑張っている姿を見て元気をもらった、午後の部隊機動はチーム一丸となって頑張る欲しい。」と訓示された。

午後からの部隊機動競技会では、8名または9名で1チームを編成し、3チーム対抗、アキオ（装備品や患者の輸送に使用するそり）に患者役を1名乗せて6kmを走破するタイムを競い、衛生隊員として積雪地における患者搬送に自信をつけた。



視察をする病院長（大鹿病院長）と准看護学院長（高橋1佐）



個人走の出走



個人走の部



病院長（大鹿陸将）訓示



部隊機動の部